

DATA FILE



斜方晶系

名前	HYPERSTHENE(ハイパーシーン)/紫蘇輝石
化学組成	(Mg,Fe) ₂ Si ₂ O ₆
色	褐色、茶褐色、緑色など
光沢	ガラス光沢、亜金属光沢
蛍光	なし
条痕	灰色、暗緑色
劈開	完全
断口	貝殻状
硬度	5 ~ 6
比重	3.4 ~ 3.6

紫蘇輝石

HYPERSTHENE

斜方晶系に属する輝石のひとつで、現在は独立種ではなくエンスタタイト（頑火輝石）に分類される。

劈開は完全で、ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。

柱状結晶や板状結晶で産する。



ガラスに似た光沢や、金属に近い亜金属光沢を持つ。

アルカリ玄武岩中の捕獲岩の空隙に、玉滴石（オパール的一种）などにもなう板状結晶で生成した紫蘇輝石。佐賀県唐津市産。

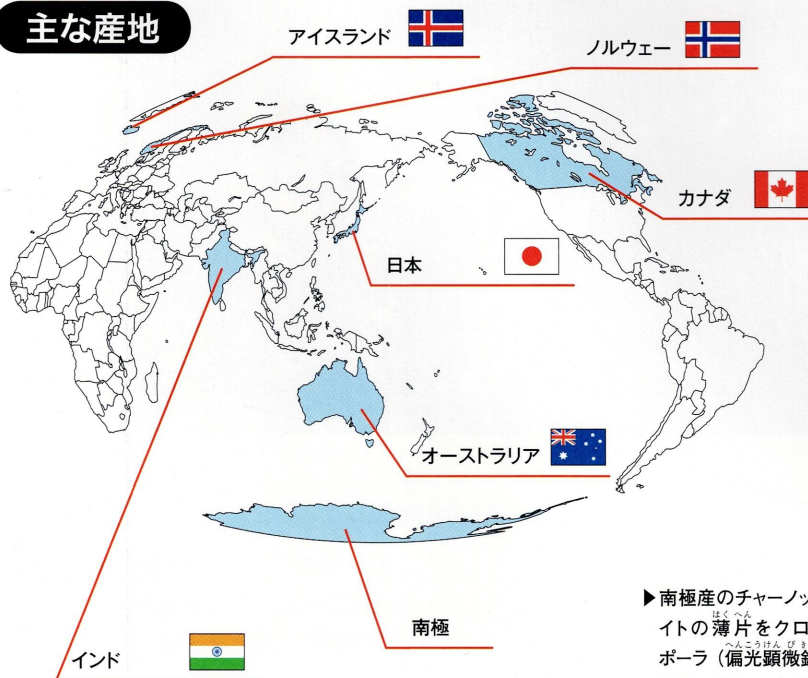
かつての分類名

単斜晶系と斜方晶系が存在する輝石のなかで斜方晶系に属する紫蘇輝石の英名「ハイパーシーン」は、フランスの鉱物学者アウイが名づけたもので、ギリシャ語で「超越した力」という意味を持つ。英名も和名もかつての分類名であり、エンスタタイト（頑火輝石）のなかで鉄を全重量の30～50%含むものに用いられていたが、現在では独立種扱いされず、エンスタタイトに分類されている。ちなみに、鉄を全重量の10～30%含むものはかつて「古銅輝石」と呼ばれていたが、こちらもエンスタタイトとなった。しかし、岩石研究者の間では今も「紫蘇輝石」や「古銅輝石」という呼称が使われることがある。

▼安山岩の空隙から、鱗珪石をともない柱状結晶で産した紫蘇輝石。宮城県・加美産。



主な産地



▶南極産のチャーノッカイトの薄片をクロスポーラ（偏光顕微鏡）で見たもの。中央の結晶が紫蘇輝石。



▼変成岩中に含まれていた紫蘇輝石の大きな分離結晶。ノルウェー産。

日本産は微細な結晶

安山岩には斜方晶系と単斜晶系の輝石が両方入っているものがあるが、紫蘇輝石はそのような岩石の空隙に、鱗珪石などをともなって柱状または板状の結晶で生成する。日本で産するものの多くはごく微細であるため、肉眼で結晶形を確認することは難しい。なお、紫蘇輝石を含む典型的な変成岩として、「チャーノッカイト」と呼ばれる岩石がある。



▲チャーノッカイト中の紫蘇輝石。黒く見える部分が紫蘇輝石や黒雲母で、白色の部分は斜長石や石英。南極産。

